

褐毛和種種雄牛「重光玉」の特性

農業研究センター 畜産研究所 生産基礎技術研究室
担当者：住尾 善彦

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力間接検定を実施し、その肥育及び枝肉成績により優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

1. 産肉能力（脂肪交雑）に優れた褐毛和種種雄牛「重光玉」を選抜した。

血統

父 光玉波（高80）

母 たまこ（育高292）

祖父 第五玉波（特96）

祖母 くにいずみ9（育高63）

祖父 光重ET（育高1）

祖母 にたま（産肉232）

生年月日：平成11年9月9日（4歳）

生産地：阿蘇郡白水村

2. 脂肪交雑の指標であるBMSは3.2で、本県で実施した褐毛和種の中では歴代1位で優れている。
3. 検定期間の1日当たり増体量は1.00kgで、検定終了時体重は生後21.8カ月齢で682kgであった。

普及上の留意点

1. 本種雄牛は基幹種雄牛として活躍している「光玉波」の息牛の種雄牛である。
2. 交配に当たっては、雌牛の血統を考慮し、体格の小さな雌牛への交配はなるべく避けること。

[具体的データ]



写真 1 褐毛和種雄牛「重光玉」

表 1 産肉能力直接検定成績

単位：kg,%

1日当たり増体量	365日齢補正体重	1kg増体当たりのTDN量	粗飼料摂取率
1.23	450.3	6.03	19.0

表 2 産肉能力間接検定成績 [発育成績および飼料摂取量]

単位：カ月齢,cm,kg

月 齢		体 高		体 重		1日当たり増体量	1kg増体当たり	
開始時	終了時	開始時	終了時	開始時	終了時		TDN	DCP
11.0	21.8	120	138	352	682	1.00	6.30	0.78

表 3 産肉能力間接検定成績 [枝肉成績]

単位：kg,cm²,cm

枝肉重量	BMS	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪の厚さ	歩留基準値
419	3.2	50	6.5	2.0	73.3